

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。

人口約1万5千人の当別町に激震が走りました。9月27日、北海道医療大学は理事会において当別にあるキャンパスを2028年



に北広島市の北海道ボールパークFビレッジの敷地内へ移転する事を決定しました。

当別町やアパート組合、料飲店組合などの関係者が連名で「移転計画が実行された場合、町の経済的、文化的損失は計り知れない」との要望書を学校法人に手渡しましたが翻意は難しそうです。。

エスコンフィールドの命名権を持つ日本エスコンは全国で土地の再開発事業を行っており、ボールパーク構想は北広島市所有地の新駅周辺を整備する計画です。と・・・考えると、計画がスタートした時点ですでに当該学校の移転が組み入れられていたのかも知れません。

まさに、当別町にとっては「寝耳に水」ですが・・・町長を経営者に例えるとその資質がとわれます。他者依存型の経営(町運営)にあぐらをかき、いざ主要取引先(学校)がなくなる事態に泣き言を言うのはお門違いです。

北海道医療大学の立場で考えると、アクセスが悪くクレームの多かった場所からお客様(生徒)のニーズに合致したエスコンさんのお誘いに乗るのは理にかなった判断でしょう。。

「世の中には3種類の人がいる」

・・・で本書は始まります。

1番目は、自分の周囲の環境変化に常に気を配っていて、**危なくなる前に状況を察知**して行動する人

2番目は、**危なくなった時に気づいて**、すぐに自分を変えられる人

3番目は、危なくなっても**危ない事に気づかない**人

と・・・「一流になる力 ビジネスで勝ち残るための教科書(小宮一慶、講談社)の冒頭で指摘しています。

本書では「おそらく3番目の人は、この世界的な経済危機の時代や底に流れる大きな環境変化にも気づかず、自分を変える努力もしないまま、残念ながら海の底に沈んでゆくことでしょう。」

「沈むまで危険に気づかないのですから、ある意味幸せな人なのかも知れません」と手厳しく述べています。



「成功も失敗も、すべては考え方次第」

なんちゃってのコンサルタントが多いので、本書のすべてを鵜呑みには出来ませんが、著者は京大法学部卒で米国で MBA を取得し文才以外にも明晰な頭脳をお持ちのメディアにも度々登場する人物です。

筆者曰く、いつも「お金が欲しい、お金が欲しい」と思っている人のところには、良い仲間、良い客がつかないので、結果としてお金が集まらない。



一方、「いい仕事をしよう」

と質の高いものを目指している人の方が成功しているようで、実際、著名な大実業家(松下幸之助等々)の多くは「私利私欲」をなくせといっていると述べています。

つまり、ビジネスをどう捉えるか、お金のためか、お客様のためか、筆者の言う通りスタート地点の考えが大事のように私も感じます。

数字を知る事は「現実と向き合う」こと

過去に採算度外視で工事を受注していた A 社長が言っていた「従業員を遊ばせるわけにいかないから仕方がない・・・」が頭に浮かびました。

このように、経営者が 3 番目の考えを持っていたら企業は倒産します。実際、A 社長は会社を破綻させました。

日ごろから当事務所では皆様に試算表を見て下さいと説明しています。筆者も「なぜ、この数字なのか」と問う事で、世の中が見えてくる。数字を使って考える事は一種の思考訓練となり、ビジネスの新たな発想が広がると言います。最低限、毎月試算表を眺め次の構想を練って下さい。

チャンスは準備している人だけに訪れる

「チャンス」のペアとなる言葉は「準備」であると筆者は言います。何がチャンスなのかは、準備していない人には分からない。

ほとんどの人には準備がなく、何度か訪れたはずの「せっかくのチャンス」が意識されずに空しく過ぎ去っていくと言います。



危険を事前に察知し、チャンスがいつ訪れてきても良いように準備しましょう。そして、最低限の準備として利益(お金)を蓄える事を考えて下さい。

なぜなら、新たな事業や規模の拡大をしようとした場合、「銀行が貸してくれない」は理由になりません。毎年、黒字決算を続ける事がその第一歩です。他者依存から脱却しましょう・・・。

今月のことば

準備しておこう。チャンスはいつか訪れるものだ。

(エイブラハム・リンカーン：第 16 代アメリカ合衆国大統領)

編集後記:

テレビ朝日系「羽鳥慎一モーニングショー」は 28 日、今年に入りラーメン店の倒産が急増していると特集し、ラーメン業界には、価格が「1,000 円」を超えてはいけない暗黙のルールがあるため、人件費、光熱費などが高騰しても値上げしづらい状況があると報じました。しかし、知人のラーメン店はチャーハンセットで 1,300 円ですが連日繁盛しています。また、懇意にしている経営学者は経営者こそ経営の勉強をした方が良いと日ごろから語っており、彼曰く、最低限の経営に関する知識をもたずに経営者になる事は問題のようです・・・(寿)。